

令和6年10月10日

茅ヶ崎市長 佐藤 光 様

茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会
委員長 北岡 英子

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画の進捗管理表（令和5年度～令和7年度）
による令和5年度事業結果及び評価と令和6年度の指標及び目標値について
（答申）

令和6年7月31日付け6茅健増第77号で諮問のありました茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画の進捗管理表（令和5年度～令和7年度）による令和5年度事業結果及び評価と令和6年度の指標及び目標値について次のとおり答申いたします。

答 申

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画は、第3次茅ヶ崎市食育推進計画、第2次茅ヶ崎市健康増進計画、第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画の3つの計画について、各計画の役割を明確にし、独立した計画として作成しつつ、それぞれの課題を一体的に捉え、より効果的な事業展開が可能な計画となるよう、令和3年3月に策定されました。

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行し、各計画で様々な事業が展開されたなかで、各事業の周知や情報などの啓発方法について課題が見受けられました。対象者に合った、周知啓発方法を選択し、情報を広めていくことが求められます。更には、事業実施後も周知を行い、次回の参加を促す等の工夫が必要です。

現在、厚生労働省において「ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」が重要視されています。子どもに対しては、各家庭での取り組みのみならず、保育園や学校等の教育現場を活用した支援が重要になります。働き世代では、自身の生活習慣を見直すきっかけとなる健康診断等の受診勧奨の重要性、そして高齢者では、フレイルを予防する取り組みを推進していくことが必要です。庁内各課で実施されている事業を共有する等の連携を密にすることで、市民一人ひとりが一生を通して継続した健康づくりに取り組むことができるよう、より良い事業が展開されていくことを期待します。

以上